

共通専門基礎科目	協働的医療実践の展開					
看護学科	必修	1単位	講義	平成30年度	後期	2年次
臨床検査学科	選択					
科目名	保健医療福祉行政論 Public health and social policy administration					
担当教員	◎次橋幸男 金井恵理					
目的	保健医療福祉行政の基盤となる公衆衛生領域の基本的知識を習得するとともに、総合的な保健医療福祉サービスに関わる諸制度の現状と課題を理解する。そして、保健医療福祉行政に関わる様々な職種の役割と連携のあり方を学ぶ。					
目標	1) 公衆衛生領域の基礎的見識を持つ。 2) 保健医療福祉行政・財政の概略を理解する。 3) 保健医療福祉の専門職・専門機関の協働、連携の必要性を説明できる。					
他科目との関連	「関係法規」「法律とくらし」「社会福祉原論」「家族社会学」「広域発展看護学概論」「広域発展看護学実践論ⅠⅡⅢ」「パブリックヘルス論」「衛生管理学」等と密接に関連する。					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	筆記試験				
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	標準保健師講座・別巻1 保健医療福祉行政論（第4版）、医学書院					
参考資料	適宜配付					
備考 (受講上注意、事前学習等)	保健師講座用のテキストを活用して、様々な地域、医療・介護・福祉施設、行政に到るまで広域で活躍する医療従事者にとって必須の知識を学びます。さらに、自分自身や家族の生活にも深く関わる内容ですので、全ての学生に関心をもって学習してもらいたいです。					